

広島サミットを契機とした「GREEN SEA 瀬戸内ひろしま・プラットフォーム」による海岸清掃の実施について

1 趣旨・目的

広島サミット開催に向けた歓迎機運の醸成と、サミットを契機とした海洋プラスチックごみ流出ゼロに向けた意識啓発を図るため、元宇品海岸周辺及び宮島・包ヶ浦自然公園において、「GREEN SEA 瀬戸内ひろしま・プラットフォーム」(略称GSHIP)^{ジーシップ}*の参画企業等と連携した海岸一斉清掃を、サミット開催100日前及び50日前に併せて実施する。

2 現状・背景

- GSHIPでは、①プラスチックの使用量削減、②プラスチックごみの流出防止、③清掃・回収、④情報発信の4つを取組の方向性の柱とし、一体的に取り組んでいる。
- こうした中、サミット開催を好機と捉え、本県の海洋プラごみ流出ゼロに向けた取組を情報発信し、海洋プラごみ流出ゼロに向けた意識啓発を行うとともに、県内外の多様な関係者に対し、サミット開催に向けた歓迎機運の醸成を図る必要がある。

3 概要

(1) 事業内容



	サミット100日前ウィーク 【元宇品海岸周辺の清掃】	サミット50日前ウィーク 【宮島・包ヶ浦自然公園の清掃】
日時	2月12日(日) 9:30~12:00頃	3月25日(土) 10:00~12:00頃
会場	元宇品海岸周辺	宮島包ヶ浦自然公園
参加者	GSHIP参画会員を中心とした県内外の多様な関係者 200名程度	
主催	広島県(GREEN SEA 瀬戸内ひろしま・プラットフォーム)	
協力	広島サミット県民会議, 広島市, 元宇品町内会 等	広島サミット県民会議, 廿日市市 等
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・元宇品町内会の地元住民も参加 ・サミット開催に向けた応援メッセージの記入や海ごみ問題啓発パネルの展示等を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・海ごみ問題に係る啓発パネルの展示 ・海ごみについての学習会, GSHIP会員同士による交流会等を実施

(2) 予算(一部国庫)

3,800千円

(12月補正「海ごみ対策推進事業」～海洋プラスチック対策(サミット関連))

*GREEN SEA 瀬戸内ひろしま・プラットフォーム(GSHIP)

瀬戸内海に新たに流出する海洋プラスチックごみの量を2050年までに「ゼロ」にすることを目指して、広島県が官民連携組織体として令和3年6月に設立したプラットフォーム。

会員は、県内全市町をはじめ、飲料・食品メーカー、製造メーカー、素材メーカー等、102社・団体(R5.1.23時点)が参画している。